

現職教員向けCST養成プログラム（CST-G2）の授業内容

対象	授業名	必修:○	内容	備考
現職	理科の観察・実験	○	理科4分野について、講義、観察・実験、ものづくり及び教材研究を行い、基礎から応用まで幅広く深く学ぶ	授業日数：68日
現職/ 学生	理科研修企画演習	○	ニーズに応じた理科研修の企画、運営方法について学ぶ	授業日数：0.5日
現職	探究型、問題解決型活動指導演習	○	探究型、問題解決活動の手法、指導方法を学ぶ	授業日数：0.5日
現職	野外体験実習	○	野外での観察を通して、自然に対する理解を深めるとともに、自然の観察方法、指導方法さらに、環境教育について学ぶ	授業日数：5日
現職	所外実習Ⅰ（研究授業等）	○	研究授業や研究発表会に参加し、他の教員の実践から理科の指導方法を学ぶ。	授業日数：5日
現職	所外実習Ⅱ（科学関係施設等）	○	最先端の科学技術などを学び、理科と日常生活の関連について理解する。	授業日数：5日
現職/ 学生	サイエンスコミュニケーション演習	○	現代的な理科教育の関連する話題を取り上げ、児童生徒に説明する工夫を行う。	授業日数：0.5日
現職	課題研究・授業研究	○	理科の探求の方法を学び、科学的思考力・探求力を身に付ける。また、効果的な授業展開を考え、提案する。	授業日数：30日
現職	授業構成力講座	○	思考力・表現力をはぐくみ授業について考え、授業プランを作成し、発表及び研究協議を行う。	授業日数：4日

- 1) 全ての必修授業科目の授業を受講し、担当教員の口頭試問あるいはパフォーマンステスト等に合格すること。
- 2) 上記1)の資料をOCN(大阪府コア・サイエンス・ティーチャー・ネットワーク)に登録し、その資料を大阪府CST協議会が審査し、認定する。
- 3) 備考中の1日は6時間(目安)と考える